

2022年度 第1回原環センター講演会開催のご案内

公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター
企画部

弊センターの業務に平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年度第1回原環センター講演会「使用済燃料の多様化を考慮した廃棄物減容化と地層処分の負荷低減に関する研究」を下記のとおり対面及びオンライン併用で開催いたします。

お忙しいところですが、多数ご参加いただければ幸いです。

1. 日時：2022年6月30日（木）14:30～16:00（会場受付開始時刻 14:00）

2. 講演概要：

演題：使用済燃料の多様化を考慮した廃棄物減容化と地層処分の負荷低減に関する研究

講演者：桜木 智史（FE・BE イノベーション研究部）

骨子：原子力利用の効率化や核燃料サイクルの推進のため、燃料の高燃焼度化やMOX燃料の利用が進められており、将来、これらの多様な使用済燃料を再処理し、発生する廃棄物の減容化・有害度低減を適切に図っていくことが重要となる。特に、使用済MOX燃料は、使用済ウラン燃料に比べて白金族元素や長寿命で発熱性の高いマイナーアクチニド（MA）が多く含まれるため、ガラス固化技術の高度化やMA分離といった技術開発を着実に実施し、核燃料サイクルシステムへ実装することが期待される。

原環センターでは、燃料の利用から廃棄物処分まで核燃料サイクルの横断的な評価に取り組んでおり、ガラス固化体の高充填化やMA分離を技術オプションとして取り入れることで、地層処分の負荷低減に関する検討を進めてきた。本講演では、これまでの研究の着眼点や経緯の概略を示すとともに、高燃焼度燃料やMOX燃料由来のガラス固化に対する技術オプションの最適化や、使用済燃料の長期貯蔵によるガラス固化体特性への影響といった近年の取り組みについて、その進め方や主な成果について紹介する。

3. 開催方法：対面開催及びオンライン開催

（1）対面開催

会場 公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター 第1,2会議室

東京都中央区明石町6番4号 ニチレイ明石町ビル12階

TEL 03-6264-2111（代表）

地図 <https://www.rwmc.or.jp/organization/map>

※定員は15名を予定しています。定員を超えた場合には、申込締切日前でも申込みを締切る場合があります。

※新型コロナウイルス感染症のまん延状況によっては、開催案内後に対面での開催を中止させていただく場合があります。その場合は、対面参加をお申込みの方にも、オンライン参加の案内をお送りいたします。

(2) オンライン開催

Cisco Webex での開催となります。定員はありません。オンライン参加のための URL、配布資料のダウンロード方法、視聴方法等に関する案内は、6月28日（火）までに、お申込みいただいたメールアドレス宛にお送りします。

【Webex 推奨環境】 推奨環境の詳細は、下記 URL をご覧ください。

<https://help.webex.com/ja-jp/nki3xrg/Webex-Meetings-Suite-System-Requirements>

4. お申込み方法・締切日：

下記 URL から申込みフォームにてお申込みください。参加は無料です。
お申込み情報を送信すると、「お申込みを受け付けました。」と画面に表示されます。
申込みフォームを開けない等、フォームからのお申込みができない場合は、「5. 問合せ先」までお問合せください。

申込締切日：2022年6月23日（木）

申込みフォーム URL：<https://forms.office.com/r/xxm5QhthFB>

5. 問合せ先：

(公財) 原子力環境整備促進・資金管理センター 企画部 岡安／藤原

電話：03-6264-2205 / 2206

電子メール：sanka@rwmc.or.jp